学校番号	415

令和８年度　芸術科（美術）

教科	芸術	科目	美術Ⅰ	単位数	２単位	年次	１年次
使用教科書	「美術１」　（光村図書出版）						
副教材等							

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・感じ取ったことから考える「絵画・彫刻」、目的や機能から考える「デザイン」と「鑑賞」の分野について学習します。
・基本はものをよく見ることです。一面的でなく、様々な方向や角度から見ることです。離れて全体を見たり、部分を拡大してみたり、構造を見たりすることです。そして見たことをもとに、どのように表現するか考えることです。意図に応じて表現方法を工夫し、創造的に表すことが大事です。

２　学習の到達目標

【知識及び技能】
・対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めるとともに、意図に応じて表現方法を創意工夫し、創造的に表すことができるようになる。
【思考力、判断力、表現力等】
・造形的なよさや美しさ、表現の意図と創意工夫、美術の働きなどについて考え、主題を生成し創造的に発想し構想を練ったり、価値意識をもって美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができるようになる。
【学びに向かう力、人間性等】
・主体的に美術の幅広い創造活動に取り組み、生涯にわたり美術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、美術文化に親しみ、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めている。 ・意図に応じて表現方法を創意工夫し，創造的に表わしている。	・造形的なよさや美しさ，表現の意図と創意工夫，美術の働きなどについて考え，主題を生成し 創造的に発想し構想を練ったり，価値意識をもって美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりしている。	・美術や美術文化と豊かに関わり主体的に美術の幅広い創造活動に取り組もうとしている。 ・自らの学習状況を把握し、自己調整しながら粘り強く取り組もうとしている。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

4　学習の活動

学期	題材名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
一学期	オリエンテーション	「鑑賞」 ・オリエンテーション 教科書を鑑賞し多様な表現形式について学び「美術Ⅰ」の学習イメージを持つ。	a:美術作品などの良さや美しさを感じ取り、美術の働きや文化についての理解を深めている。 b:造形的な特徴などを基に、全体のイメージや作風、様式などで捉えることを理解している。 c:美術の多様な表現に関心を持ち、これからの学習意欲を高めている。	ワークシート	授業観察 ワークシート	授業観察 ワークシート 鑑賞活動の様子
	デザイン「色との出会い」	「デザイン」「鑑賞」 ・色の三要素 色の混合、対比その他を理解する。 ・色彩構成 画用紙にポスターカラーで着色する。 ・レポート作成	a:色彩について理解し、材料や用具の特性を生かしている。 b:感性や想像力を働かせて豊かに発想し工夫した表現をする。 c:デザイン学習の色彩に関心を持ち基礎的内容をよく理解する。 c:色彩の資料の内容を理解しレポートに鑑賞のまとめをする。	授業観察 ワークシート 提出作品	授業観察 ワークシート 制作途中の作品	授業観察 鑑賞活動の様子 振り返りシート
	デザイン「紙袋の制作」	「デザイン」「鑑賞」 ・紙袋の鑑賞 ・アイデアスケッチ テーマに沿ったオリジナルデザインを考える。 ・制作 ゴム判を彫刻刀で彫りスタンプを作る。 アクリル絵具その他必要な素材等を用いて制作をおこなう。	a:目的や意図に応じて材料や用具の特性を生かし、表現方法を工夫して、目的や計画を基に表現している。 b:アピールする事物などデザインの目的、機能、美しさなどから主題を生成し、描画材や表現形式の特性、形や色彩などの働きを考えて表現の構想を練っている。 b:作者の意図や表現の工夫、よさや美しさなどを感じ取り、生活や社会を心豊かにする美術の働きや作品などについて理解を深めている。 c:生活や社会を心豊かにする美術の働きやデザインの目的や条件、機能や用途などを考えて表現することに関心を持ち、表現や鑑賞の活動に主体的に取り組もうとしている。	授業観察 アイデアスケッチ 提出作品	授業観察 アイデアスケッチ 制作途中の作品	授業観察 振り返りシート

学期	題材名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
二学期	絵画「静物画の制作」	「絵画」「鑑賞」 ・スライドの鑑賞 ・デッサン 木炭でおよそのあたりをつけ構図の検討をおこなう。 ・制作 構想を基に自分の表現意図に合う表現方法を工夫する。 ・主題を追求し、表現を深める。	a:木炭、油絵具やペインティングナイフなど用具の特性を生かし、表現方法を工夫して表現している。 b:表現形式の特性を生かし、形体、色彩などを工夫して表現の構想を練っている。 b:よさや美しさ、表現の工夫などを感じ取り、作品について理解を深めている。他者の作品から、作者の主題、意図、創造的な表現の工夫などを感じ取り、理解している。 c:モチーフの特徴を表現することに関心を持ち、表現や鑑賞の活動に主体的に取り組もうとしている。	授業観察 制作途中の作品 提出作品	授業観察 制作途中の作品	授業観察 鑑賞活動の様子 振り返りシート
	彫刻「半立体イラストレーションの制作」	「彫刻」「鑑賞」 ・スライドの鑑賞 半立体・レリーフ作品を鑑賞し、制作に対する関心を持つ ・動きを表す言葉を考えアイデアスケッチをしながら表現の構想をまとめる。 ・制作 構想を基に、表現の目的や意図に応じて粘土や用具の特性、効果を生かしたり、より効果的な表現方法を工夫したりしながら制作する。 細部を整え、彫りを仕上げるとともに、彩色する。	a:粘土や彫塑用ナイフなど用具の特性を生かし、表現方法を工夫して表現している。 b:表現形式の特性を生かし、形体、色彩などを工夫して表現の構想を練っている。 b:よさや美しさ、表現の工夫などを感じ取り、作品について理解を深めている。 c:モチーフの特徴を表現することに関心を持ち、表現や鑑賞の活動に主体的に取り組もうとしている。	授業観察 提出作品	授業観察 アイデアスケッチ ワークシート 制作途中の作品	授業観察 アイデアスケッチ ワークシート 振り返りシート

学期	題材名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
三学期	「絵画」一版多色刷り版画	「絵画」「鑑賞」 ・スライドの鑑賞 様々な版形式を理解するとともに、一版多色刷り版画の技法を理解する。 ・アイデアスケッチ テーマに沿った下絵を考える。 ・制作 構想を基に、表現の目的や意図に応じて、より効果的な表現方法を工夫したりしながら制作する。 ・刷り 細部を整え、彫り跡を仕上げるとともに、彩色する。	a:一版多色刷りの表現方法について理解したうえで、用具の生かし方を創意工夫して表現する。 b:よさや美しさ、表現の工夫などを感じ取り、作品について理解を深めている。 b:資料から発想して、木版画のよさを感じ取り、工夫しつつ構想する。 c:様々な版形式を理解するとともに、一版多色刷り版画に関心を持ち、目的に合った図案の発案をし、表現の仕方に工夫を持って取り組む。	授業観察 ワークシート 提出作品	授業観察 ワークシート アイデアスケッチ 制作途中の作品	授業観察 アイデアスケッチ 振り返りシート

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度